

平成 26 年 2 月 16 日

加盟団体各位

体操競技器械破損の対応について（現状報告）

公益財団法人 日本体操協会
総務委員長 遠藤 幸一

標記の件、昨年、2 件「①第 46 回東日本学生体操競技選手権大会（5 月、岩手県営体育館）の競技中、「つり輪」の革製ベルト部分が切断」「②2013 全日本ジュニア体操競技選手権大会（8 月、横浜文化体育館）の練習中、鉄棒が断裂」の器械破損事故が大会中に発生いたしました。これを受けて、改めて現状での対応策を業者とともにいき、その現状についてご報告申し上げます。

【破損事故報告】

①つり輪破損の原因

長期間の使用による経年劣化が原因と推測

②鉄棒破損の原因

荷重回数が設計上の想定を超過したオーバーユースによる破断と推測

【器械に関する問題点】

- ・費用が高く、頻繁に交換できない
- ・目視での点検だけでは限界がある
- ・鉄棒の車輪などの技術が変わっているにも関わらず、FIG ルールの変更がされていない

【対応策】

- ・器械体操・安全点検マニュアル（2013 年 6 月 3 日版）を配信し、点検に関するの情報提供
<http://www.jpn-gym.or.jp/?p=1211>
- ・具体的な現場視線に立った Q&A の作成
- ・専門業者による点検の推進（割安価格による対応。ただし、点検は修理ではない）
- ・経年劣化の想定される備品の早期交換の推進（通常よりも割安価格にて提供）

以上